

第 64 回宇宙理学委員会 議事録

日時：2019 年 2月27日（水）11:00～18:30

場所：宇宙科学研究所 研究管理棟 2 階会議場

出席者：

山田委員長、渡邊副委員長、清水幹事、山崎幹事、篠原幹事、
井口委員、一本委員、今村委員、上野委員、臼井委員、金田委員、河合委員、
倉本委員（Zoom）、郷田委員（Zoom）、斎藤委員、塩谷委員、田代委員、田中委員、
中川委員、永田委員、橋本委員、羽澄委員、山岸委員、吉田委員

宇宙研：國中所長、藤本副所長、倉崎理事補佐、満田PD、久保田研究総主幹、
森田基盤・技術統括、三好科学推進部長、東覚国際調整主幹、
青柳科学推進部計画マネージャ、今村参事

説明者：

佐々木国際宇宙探査センター長、徳留准教授（宇宙輸送系専門委員会）、
山田プリプロジェクトチーム長（CAESAR）、
津田プロジェクトマネージャ（はやぶさ2）、
船木工学委員会幹事、高島プリプロジェクト準備チーム長（Destiny+）
村田追跡ネットワーク分科会長代理、沼田（GREAT）（Zoom）、米倉（追跡 NW）、

事務局：

科学推進部 和木、早川、柳澤

1. 所長挨拶

國中所長よりご挨拶を頂いた。

2. 前回議事録確認（審議）

資料 01（簡易版）、資料 01（詳細版）について本会議終了時に確定する。

→ 特に異論はよせられなかったので、前回議事録は承認された。

3. 諸報告

1) 国際宇宙探査センターの状況

資料 02-01 に基づいて、佐々木国際宇宙探査センター長より報告がなされた。

2) 専門委員会報告

a. 宇宙環境利用専門委員会

資料 02-02-01 に基づいて、橋本宇宙環境専門委員会幹事より報告がなされた。

b. 大気球専門委員会

資料 02-02-02 に基づいて、吉田大気球実験グループ長より報告がなされた。

c. 観測ロケット専門委員会

資料 02-02-03 に基づいて、中川委員長より報告がなされた。

d. 国際宇宙探査専門委員会

資料 02-02-04 に基づいて、久保田委員長より報告がなされた。

→ 2019 年度から東工大の中本先生を専門委員に加えることが承認された。

e. 宇宙輸送系専門委員会

資料 02-02-05-01、-02 に基づいて、徳留委員長より報告がなされた。

(山田委員長) 現在のミッションシナリオは年度内に取り纏められるということで、もし理学的立場から理学委員の方からご意見があれば、徳留先生にお送りすることをして頂く必要がある。

4. 宇宙科学プロジェクトの現状

資料 03-00 に基づいて、満田プログラムディレクタより報告がなされた。

1) あかつき

資料 03-01 に基づいて、今村プロジェクトサイエンティストより報告がなされた。

2) Geotail

資料 03-02 に基づいて、斎藤プロジェクトマネージャより報告がなされた。

3) ひさき

資料 03-03 に基づいて、山崎プロジェクトマネージャより報告がなされた。

4) あらせ

資料 03-04 に基づいて、篠原後期運用チーム長より報告がなされた。

5) CAESAR

資料 03-05 に基づいて、山田部門プリプロジェクトチーム長より、ヘリコプタ投下による CAESAR-SRC 用のパラシュート開傘試験の試験結果速報の報告がなされた。

6) はやぶさ 2

津田プロジェクトマネージャより、「はやぶさ 2」の Ryugu タッチダウン結果速報の報告がなされた。(資料は投影のみ)

5. 大学連携に関する検討委員会について

資料 04 に基づいて、久保田研究総主幹より提案内容の説明がなされた。

→ タスクフォース設置の提案が承認された。

6. 議事

1) 宇宙科学ロードマップの改訂について

資料 06-01-01 に基づいて、山田委員長より説明がなされた。また、資料 06-01-02、-03、-04、-05、-07、06-02 の資料構成について説明がなされた後、討議が行われた。

資料 06-02 に基づいて、藤本副所長より説明がなされた後、討議が続けられた。

資料 06-01-05 に基づいて、船木工学委員会幹事より説明がなされた後、討議が続けられた。

2) 理学委員会委員選定委員会

資料 06-03-01、-02 に基づいて、山田委員長より、次期理学委員会の委員選定プロセスについて説明がなされ、候補選出委員会のメンバ案が提示された。

→ 候補選出委員会のメンバ案が了承された。

3) WG 審査

a. 3 年を経過した WG の審査

資料 06-04-01 に基づいて、中川 WG 設置審査委員長より、3 年を経過した K-EUSO WG の活動延長審査の結果が報告された。

→ WG 延長が承認された。

b. WG 設立・活動変更

資料 06-04-02 に基づいて、中川 WG 設置審査委員長より、新規設立申請の LISA WG の審査報告、および、活動内容の変更申請の系外惑星紫外分光 WG の審査報告がなされた。

→ LISA WG の設置は、今回の議論を踏まえて、次回の理学委員会にて、WG から直接話を伺うということで、WG 設置が承認された。

→ 系外惑星紫外分光 WG の活動内容変更については、戦略的国際共同計画としてふさわしいかどうかは、WG の検討の推移を見ることと並行して、次回の理学委員会で議論をする。一方、ARIEL 参加に関する活動内容の変更については、別 WG として設置されることが適切である、ということで、申請を認めないこととする。

4) WG 年度末報告評価

山田委員長より、WG 年度報告評価の進め方について提案がなされた。また、資料 06-05 に基づいて、山崎幹事より FORCE WG の評価結果が報告された。

→ 提案の通り進めることが了承された。各 WG の見守り担当者案については、後日、あらためて回覧する。小規模計画のコメントについては、公募の審査結果が出た後に戻すこととする。

5) Geotail 運用延長審査

清水幹事より、口頭にて（資料なし）Geotail 運用延長審査の状況について報告された。

6) Destiny+サクセスクライテリアの改定について

資料 06-07 に基づいて、高島 Destiny+準備チーム長より説明がなされた。

→ サクセスクライテリアのバックグラウンドと科学的な意義について、説明を加えた資料を提出することを条件として、改定文書を了承する。

7) 追跡ネットワークの将来構想について

資料 06-08 に基づいて、村田追跡ネットワーク分科会長代理より説明がなされた。

（山田委員長）理学委員会として取り纏めるのは、まず、一週間程度を目処に、是非インプットしたい。理学委員会の中で、直接、要望・要求をお持ちの方、ご自身の周辺でミッションの要求があるということを感じて頂いた方には、そういう所にも話をして頂いて、（要望・要求は明確にすることとして、）幹事団の方で要望・要求を取り纏める。後でそのアナウンスメントをメールする。理学委員会から推薦して 1 人入って頂くとしたら、幹事団で相談して、個別に委員にお願いするか、委員長か幹事団の誰かが出る、ということで進めたい。

7. 宇宙理学メンバ登録・退会

4 名の新規登録を了承した。

8. その他

1) 総括・来期への申し送り

今期の総括と来期への申し送り事項について意見交換がなされた。

2) その他

(山田委員長) 臨時理工学委員会は3月29日金曜日の午後1時から夕方までということになっている。理学委員の任期は4月末までということになっているので、今回の宇宙科学・探査ロードマップ、技術ロードマップに対する今年度の対応までは、今期の委員会にお願いしたい。

以上